

平成30年度
飯南町総合振興計画等評価委員会
答申書



出雲大社神楽殿大しめ縄のかけかえ

平成30年9月11日答申
飯南町総合振興計画等評価委員会

1 はじめに

平成 30 年度は、「第 2 次飯南町総合振興計画」が 3 年目、「飯南町総合戦略」は 4 年目を迎え、両計画とも折り返し地点を経過したところです。

平成 27 年の国勢調査から 2 年が経過した平成 29 年（2017 年）の推計人口では、飯南町の人口は 4,883 人（148 名減少）となり総合戦略に定める「人口展望」と比べると、すでに 2020 年時点の人口にせまっており、人口減少に歯止めがかからない状況となっています。

この状況を踏まえ、この度の飯南町総合振興計画等評価委員会では、飯南町総合戦略に掲げる政策・施策の推進と目標指標を実現するため、平成 29 年度中に実施した事業を点検しました。

この答申書を、住民と企業・団体・行政が協働したまちづくりのための政策・施策の検討資料としてご活用いただきますようお願いいたします。

2 評価の目的

飯南町総合振興計画等評価委員会設置要綱の規定により、「飯南町総合振興計画」並びに「飯南町総合戦略」の達成、進捗状況等について評価を行い、住民と行政が協働し、地域の特性にあった個性豊かで住民が真に暮らしやすいまちづくりを推進するために評価委員会を設置し、飯南町を取り巻く現状と課題の把握と総合振興計画・総合戦略の達成、進捗状況の評価を行いました。

3 評価の方法

飯南町総合戦略の事業進捗や取組み状況を確認し、事業推進に対して評価委員より助言・提案を行いました。

やむを得ず出席できなかった評価委員については資料を送付し、記載による意見集約を行っております。

また、評価委員から出た質問についても併せて報告します。評価委員からの質問は、地域住民等への事業説明などを行う際の参考になるものと考えております。

4 評価の状況

1) 評価委員による総評

今年度の評価方法については、総合戦略の実施状況の説明を受け、それについて提言や意見交換という形で進めました。

目標指標が達成されている施策がある一方で、未達成の施策もありますが、重点目標である人口対策では一定の成果が出ていると思われます。

特に社会動態では、合併時には毎年 100 人以上の社会減となる状況でしたが、近年では大きく改善されています。反面、自然増減では、大きく出生数が減少しています。

出生数を増加させるための抜本的な施策というのは大変難しい事ではありますが、いま取り組まれている施策をよりブラッシュアップし、ダイナミックな子育て支援を期待します。

産業振興分野では、「飯南ブランド」の確立を早期に取り組まれるようお願いします。飯南町には多数優れたものはあるものの、それぞれバラバラに広報・宣伝が行われております。

「飯南町＝優れたもの」というブランド化をまずは確立させつつ施策展開を行って頂きたいと思います。

これについては、総合振興計画の策定時にも一番重要視していたポイントであり、個々の生産者等が確立することは難しい部分ですので、行政主導にて各関係者と連携を図りつつ推進されますようお願いします。

2) 総合振興計画等目標指標の状況（抜粋）

目標指標	基準値（H26）	平成 29 年 実績値	目標値（H31）
出会いの場の創出からの相談件数	10 件／年	19 件／年	20 件／年
婚姻数	14 組／年 (H22-26 平均値)	15 件／年	20 件／年 (H27-31 平均値)
飯南高校生徒数	188 人	182 人	180 人以上
UI ターン移住者数	35 人／年 (H22-26)	54 人／年	53 人／年 (H27-31)
新規創業企業従事者数	23 人（年 4.6 人） (H22-26 累計)	7 人／年 (累計 12 人)	25 人（年 5 人以上） (H27-31 累計)
出生数	137 人／5 年 年 27.4 人 (H22-26)	21 人	180 人／5 年 年 36 人 (H27-31)
社会増減数	－13.2 人／年 (H22-26)	15 人	+5 人／年 (H27-31)

3) 評価委員からの評価・意見・提案・質問等

※飯南町総合戦略に沿って記載

施策1	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
政策1	結婚への意識を高める
【意見・提案等】 (若者交流イベント事業) ・飯南町のブランドやイメージを意識させるため「しめ縄合コン」など PR を含めたキャッチーな名称を付けながら開催してほしい。統一感もでるのでは。 (コミュニケーションリーダー育成事業) ・コミュニケーションリーダー育成という事業では、リーダーや仲人のスキルアップとあるが、現状では若者（男性）を対象としたセミナー開催となっている。町内で育成したリーダーによる講座であるかが不明である。どの程度の参加者数と効果がどうかという点を明確にすべき。	
【質問等】 ・交流イベントは年間どの程度開催しているか。 Ans：交流会は2回、マリエ・やしろでのイベントは2回、その他含めると7回程度開催している。 ・交流会の対象は、飯南町の男性のみか。 Ans：事業所間交流や飯南町の男性と出雲市の女性を合わせる交流など、さまざまな形を考えて行っている。	

施策1	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
政策2	結婚の希望をかなえる
【意見・提案等】 (ご縁の会事業) ・「コミュニケーションリーダー」と「ご縁の会」との役割が不明確である。町民に分かりやすくするため体制を明確にしてほしい。町民との連携を促すにも明確化は必要である。	
【質問等】 なし	

施策1	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
政策3	女性の出産・子育ての希望をかなえる
【意見・提案等】 (小児診療拡充事業) ・小児科の診察時間や出産の整備が無いという説明が不足している。子育ての前に出産があるが、その時点の情報が足りない。	

(子育て支援体制強化事業)

- ・定住や町外への流出を防ぐには、雇用・住環境・生活インフラ・子育て・教育・地域医療の充実が必要である。定住対策としての子育て対策を積極的に考えていく事が重要である。
- ・UI ターンや若い方の定住を促すには、子育てしやすいという事は強いアピールとなる。
- ・一人家族が多くなってきている。結婚・出産への支援も必要だが、協力して家庭を築き、子育てをしていく意識の醸成、子育ての支援こそが大切である。

(3 世代家族支援事業)

- ・3 世代家族支援事業では、住宅の改修後に 3 世代となる所でハードルが高いのでは。既に 3 世代で改修をする所も視野に入れることができないか。
- ・補助事業の周知について、自治区長会等で行っているが、個別に行わず、各課まとめて、一覧となった形で配布してはどうか。
- ・3 世代家族支援事業では、改修する施工業者に対して制度周知させるのは良い。お互いに利点が生じる形になる。
- ・他の UI ターン施策と連動させ、積極的な PR をしてほしい。

(夏休み居場所づくり事業、放課後居場所づくり事業)

- ・夏休みの居場所づくりとして、来島小学校で行われている。場所が一箇所のみは不便でないか。利用者のニーズを再確認してほしい。
- ・頓原公民館では、古くから子どもをお預かりする仕組みがある。保護者も安心して預けている。学校と違い自由度もあり、大変良い取り組みである。

(保育料軽減事業)

- ・保育料軽減事業は、画期的な事業である。引き続き進めてほしい。
- ・子育てからも飯南町に住所を移したくなるような提案ができると良い。
- ・保育料減免ではなく、完全免除という形はできないか。それだけインパクトのある施策が必要である。UI ターン者に対しても強いアピールとなる。
- ・保育料無料化は、近隣も取組まれているため、逆に無料に値する経費をかけて魅力的な保育所環境の整備を行ってはどうか。「無料＝普通の保育」でなく「お金がかかる＝最高の保育」が保護者にとって魅力では。

【質問等】

- ・飯南町に待機児童はいるか。

Ans : 待機児童は 0 人。

- ・幼児を預かる余裕はあるか。

Ans : まだ余裕はある。

- ・飯南町外の方が飯南町の保育所に預ける際も保育料減免となるのか。

Ans : 飯南町に住所がある事が前提となる。町外者は広域入所という形になり、住所がある自治体の基準に沿った支払いとなる。

施策 2 飯南町への新しいひとの流れをつくる
政策 1 地域魅力の発掘・発信

【意見・提案等】

(飯南農業魅力発信事業)

- ・農産物のブランド化は、品目ごとに進めているのか。町全体としてブランドを構築する事をしてはどうか。
- ・農産物や加工品について審査し、合格した物には認定証シールを貼る施策をしている県もある。こういった事も考えてみては。
- ・飯南町には良いものがあるがバラバラである。最初は、統一したブランドを確立すべきである。
- ・「飯南町の物＝良いもの」というイメージづくりをまず行うこと。
- ・頓原と赤来が合併しているため、統一したブランドを作れないのであれば、それぞれでも良いので売れるブランド名を付けて進めていくのも手段としてはあるかと思う。「出雲」という言葉を使うなど。
- ・ブランドは、農家個々に作ることはできない。最初は行政にて主導権を握り推進を図っていくようにしてほしい。
- ・飯南町のブランド構築は、ある程度予算投入が必要だと思う。自然に醸成できるものではない。

(ふるさと納税関係)

- ・ふるさと納税では、〇〇したいので協力を、という目的を定めた募集の形も考えてみては。クラウドファンディングと併せて検討しては。
- ・ふるさと納税の返礼品は、町の PR にも繋がることになるため、引き続き積極的な発信と随時返礼品の見直しを行って欲しい。

(UI ターンの魅力発掘事業)

- ・広島でのイベントで、飯南町に関心を持つ方が多く驚いている。雑誌等の掲載により大きな効果が得られていると感じる。
- ・田舎暮らしの本は、本当に効果が高い。広報経費は高いかもしれないが、積極的に進めてほしい。
- ・UI ターン者の視点や満足度など、リアルな情報源を各媒体に掲載すべき。
- ・「生き方×働き方」をテーマに、雇用・求人・人材の課題と向き合ってみては。
- ・定住や町外への流出を防ぐには、雇用、住環境、生活インフラ、子育て、教育、地域医療の充実が必要である。定住対策としての子育て対策について積極的に考えてほしい。

【質問等】

- ・ふるさと納税で、奥出雲和牛が飯南町からよく出るのはなぜか。
Ans:ふるさと納税検索サイトでヒット率を高める対策を行った。効果が出ている。
- ・I ターン者はどこから来られているか。
Ans: 関西・関東から来られている。最近では九州からも問い合わせがある。

施策 2 飯南町への新しいひとの流れをつくる	
政策 2 飯南町のファン拡大	
【意見・提案等】 (三十路式事業) ・三十路式は、同級生との繋がりも強くなり、U ターンのきっかけにもなる。また地域経済を考えても良い施策である。 (森林セラピー魅力化事業) ・森林セラピーは、これまで多くの投資をしていると思われる。町外からの集客は多くを期待できないと思うし、町民に対しては必要性を感じられない。拡充することに対し疑問を感じる。 (島根大学連携事業) ・高校、大学、島根県中山間地域研究センター等が連携し、高校生を対象としたプログラムを実施することは、町内への就労、居住への効果が期待できる。	
【質問等】 なし	

施策 2 飯南町への新しいひとの流れをつくる	
政策 3 定住の促進	
【意見・提案等】 (飯南民泊推進事業) ・飯南民泊推進事業では、需要やニーズがあるのか疑問である。現在の宿泊所の利用状況や今後の見通しを考えて取組むべきでは。 (地域おこし協力隊受入事業、高度技術者確保事業) ・高度技術者確保事業では、技術を活かすため任期付き職員を採用としているが、任期終了後も町内に残ってもらえるようにすること。その後の事を考えた雇用をしてほしい。 ・現在は人材不足となっている。専門技術者なら欲しがる企業も多い。技術者を任期付きで採用されているなら、その能力を町内企業に活かせる仕組みを作ってほしい。 ・任期付きで技術向上させてから、次の雇用先へ送り出すという仕組みを考えてみてはどうか。 ・任期終了後の働き方（起業や在宅型、手段）をイメージできるようにしながら専門的知識者を確保してほしい。 (UI ターン者受入推進事業) ・地域に馴染めないという事も定着に繋がらない。UI ターンの方と地域住民との関わりができるような仕組みを更に進めてほしい。 ・地域おこし協力隊も I ターン者となる。任期が終わった後も定着するようにフォローアップするように。	

・ UI ターン対策として集落に支援金を出すのは良い施策である。より周知して、自分の自治区は自分で創るという意識を高めてもらいたい。 ・ U ターンは家庭からの働きかけが最も大きな要素となる。
【質問等】 なし

施策 3 飯南町でいきいき暮らせる「しごと」をつくる
政策 2 観光関連産業の拡大
【意見・提案等】 (飯南ブランド構築事業) ・ 飯南町で日本一と言える大しめ縄を前面に出してはどうか。 ・ 飯南町全体のブランド化について専門家を交えてのプロジェクトを組んで進めてみて欲しい。経費はかかるが必要ならやるという判断を持って進めてほしい。 ・ 赤穴八幡宮や瀬戸山城、赤名の街並みなど、観光客にとっても喜ばれる場所がある。民有地であっても紹介できる所は出して欲しい。 ・ 赤穴八幡宮の階段は古くなり登るのも危なく感じる。民間の地であっても誘客として効果のあると思われるところは支援して直すという事を考えてほしい。 ・ コンサルや専門家をいれて統一のイメージを作り、付加価値をどうつけていくのかが本当に必要だと思います。 ・ 飯南町は、情報が多出・散乱しているため、情報の窓口を一本化すべき。 ・ イベント等が開催される際は、アクセス方法についての問い合わせが多くなる。事前に乗換え方法など公表してほしい。 ・ 情報発信と併せて、各観光施設の Wi-Fi 化を進めてほしい。 ・ 情報発信として、「いーにゃん」や「しめ縄」のラインスタンプは作れないか再検討してほしい。
【質問等】 なし

施策 3 飯南町でいきいき暮らせる「しごと」をつくる
政策 3 「しごと」場の維持・創出
【意見・提案等】 (森林を活かした地方創生事業) ・ 近年ハウスメーカーで建てられるようになっており、大工の出番も少なくなっている。地域の担い手確保にも繋がるため、この事業は期待している。 ・ 森林を生業にしている方はいるか。 町内に 3 件程度。 ・ バイオマスセンターの状況は。木材を「おが粉」にし、畜産への活用から農地へという流れで考えているが、水分量の問題、販売先についてまだ難しい所もあり、併せて可能性を調べていく必要がある。

・木材流通を加速させるため、ぜひ実現をしてほしい。第一段階として学校・公共施設等に飯南町産木材を使用した製品を積極的に導入・ブランド化を進めてほしい。 (公共サービス民営化事業) ・民間にて取組みが可能であれば委託を拡大すべきだが、サービスの低下につながらないように。
【質問等】 なし

施策4 安心・快適に暮らせる「まち」をつくる
政策1 安心して長生きできる環境づくり
【意見・提案等】 (医療・福祉・介護人材確保事業) ・心療内科も必要な科となる。潜在的なニーズも多分にあると思うので、臨床心理士の増員を含めた医療人材確保を検討してみてもは。 ・飯南町は自死率も高く、その予備軍も多数いるのではと想定する。心療内科も医療の充実として検討しては。 ・人材確保のためチラシやパンフレットの製作と配布は良いが、「人材が不足している」「十分なサービスが提供できていない」と書いている所に有能な人材が集まるのかと疑問である。この職場の「やりがい」「魅力」は何か、働く方の「メリット」は何かをまとめた方が良いのではと思う。 (地域医療の充実) ・心療内科は、診察を受けることに抵抗を感じることもある。相談程度の段階はいつでも気軽にできるよう窓口を設ける事も必要である。 ・本当に悩み困っている方は「窓口」があってもたどり着けない。集落支援員の一時窓口制度や、住民の声掛け訪問制度など身近な所に窓口を設置する事も必要ではと思う。
【質問等】 ・訪問看護を増やす事はあるか。 Ans：需要は高いと思われる。需要はあるが、今は看護師が確保できていないため難しい。医療費を抑えるには訪問看護を充実すべきと思うが。看護師確保や今後の需要を見ながら考えていきたい。

施策4 安心・快適に暮らせる「まち」をつくる
政策2 田舎だからこそキラリと輝ける教育環境づくり

【意見・提案等】

(教え合い学びあい事業)

- ・異校種異年齢交流では、子ども同士だけでなく、子どもと大人が関わりあえる場を作ることが必要かと思う。また町外の同じような取組みがあれば一緒に取組むことで広い視野と視点が養われるのではと思う。

(飯南高校魅力化事業)

- ・高校の魅力化はマンネリ化していないか。特色を出すため、IT科など今から必要な科を創設してはどうか。
- ・部活でも、横田高校はホッケー、矢上高校は元プロ野球選手を監督に雇用するなどしている。飯南高校もハンドボールに力を入れてみては。

飯南高校は他校と比べて目立った特色は無いが、生徒が集まる状況にある。なぜ集まるのかという点を分析してから取り組むのが良いのではと考える。

- ・飯南高校は、進学率も高くなり、ホストファミリー制度で地域との交流もでき、寮も新しい。また、人数的には少なくてもちょうど良いため、親として行かせ易いのではと思う。
- ・町外、県外から来られた生徒は、出してしまう事が多いが、また戻ることもある。そういったUターンの対策も考えてほしい。
- ・オープンキャンパスでは、生徒が企画し運営している。来られる方の対応も生徒が行っており、保護者も子どもも安心感が生まれやすい。良い企画である。
- ・外部から来た生徒ということもあり、自分だったら喜ぶという企画を考えてくる。そういった外部の考えが反映できる仕組みも良い。

(飯南思い出づくり事業)

- ・帰属意識を高められる取組みを進めては。写真や絵など後世にも残るような取組みを検討してみてもいい。

【質問等】

- ・飯南高校の人数的に、今よりも増やしたいと考えているのか。

Ans: 人数的には現在がちょうど良いと考えている。180人以上をキープすることが目標である。

- ・三次から生徒を入れる気はあるか。あるなら三次に向けてもスクールバスを運行しては。

Ans: 美郷町は邑智高校が閉校になった事もあり呼び込みをしている。三次市も高校の魅力化に取り組んでいる事もあるが、三次自体に高校があるため協力しあっていきたいと考えている。

施策4 安心・快適に暮らせる「まち」をつくる	
政策3 不便を感じない生活基盤の整備	
【意見・提案等】 (冬季宿泊施設事業) ・冬季宿泊施設の増設を検討してほしい。高齢者が集まり、楽しめる場所の横に建てられたらと思う。さつき会館のあたりなど。 ・自助、公助、共助という言葉があるとおりに、集落や地域で出来ること、できないことを分析していきながら、住民はどうするか、行政はどう支援していくかを考えていく必要がある。 ・今後需要が増すと思われる。対応策を想定した取組みをしてほしい。 (インターネット環境充実事業) ・光ケーブルを整備しても速度が上がらないという説明だったが、速度を上げる事も同時進行で進めてほしい。 ・企業誘致や若者の定着を考えても、データ通信の速度改善は優先順位的にも高い。 (生活交通のあり方検討事業) ・買い物弱者対策として具体的な取組みは。ローソンポプラでは移動販売を昨年からは飯南町全域で行うようになっている。評判もよく、高齢者の見守りとしても機能している。 ・住民課や地域振興課、保健福祉課としっかり連携して取り組んでほしい。 (公共交通優待乗車券販売事業) ・デマンドバスについては使いにくいという声もある。PV 作成や乗車体験をされたとも聞いているが、全員に行きわたるようにじっくりと進めてほしい。そうすれば利用者数も上がり、早期免許証返納者も出てくると思う。 ・利便性向上のため、使う方の調査はもちろんだが、使われない方に対し、なぜ使われないのかという調査を実施しては。 (飯南町へのアクセス整備事業) ・三次市では、広島空港と三次の間でバスの試行運転をし、本格的に動き出すようである。飯南町も、このバスとの接続を考えたダイヤ改正をすれば飯南町アクセスの改善にもなり、観光客の入込も考えられるのでは。 ・高校生は町外・県外者が多くなり、自力で帰る事が出来なくなっている。飯南町と広島、また出雲や松江の間の移動が難しくなり、大変不便となった。正月やお盆、連休などは増便するなど対策を検討しては。 ・デマンドバスは、面倒で難しいという声も聞く。手続きの代行を引き受ける方の確保や、簡素化など対策を講じてほしい。 【質問等】 ・受信機とデータ通信環境が整えば 4K が見られると聞くが、実際はどうか。 Ans : 4K 放送を見るには、別に機械を設置する必要がある。現状のテレビ視聴であれば今後も同じように見られるが、4K の場合は個人負担により機器類購	

入など負担が出る。

- ・インターネットの光ケーブル整備は、赤来地区は完了と聞いているが、谷地区も含めているか。また頓原地区、志々地区はいつ完了する見込みであるか。

Ans：赤来地区は谷地区も含んでいる。頓原・志々地区は、平成31年度に完了予定であるが、国の助成事業の状況によって前後する可能性がある。

- ・免許証返納の支援として、ローソンポプラの移動販売を使うと割引しますなど返納者支援をしてみてもは。

Ans：免許証を元々持っていない方もいるため、同じように支援策を考えていく。集落実態調査も行うため、ニーズを確認しつつ対策を講じたい。

5 評価委員による見直し等提言

より一層効果的な評価を行うために、下記の点について提言いたします。

○施策推進について

行政スタッフの知識見聞を広げるため、定期的な人事異動など行われておりますが、当初の目的や目標など薄れてしまう傾向にあります。その都度でも担当するスタッフにはしっかりと引継を行い、当初の目的や目標を再確認させながら推進されるようお願いいたします。

○施策の状況説明資料について

この度の評価委員会では、総合戦略におけるすべての施策を確認いたしました。より施策の推進状況を把握するためには、推進の状況から成果まで記載されますようお願いいたします。

6 添付資料

- ・飯南町の状況（人口）について（資料2）
- ・飯南町総合振興計画・総合戦略の目標指標について（資料3）
- ・地方創生拠点整備交付金について（資料4）
- ・地方創生推進交付金について
（資料5：三瓶山広域 資料6-1：森林資源PJ、資料6-2：高校魅力化）
- ・飯南町総合戦略 施策実施状況（資料7）

7 平成 29 年度飯南町総合振興計画等評価委員会

委員氏名	所 属 等	備 考
赤穴 憲一	公募による住民	委員長
奥野 恵子	公募による住民	副委員長
若林 九二夫	飯南町商工会 事務局長	
梶川 光夫	飯南町教育魅力化推進員	
徳永 光子	(株)山陰合同銀行 赤名出張所 出張所長	
長藤 靖明	(株)山陰合同銀行 頓原出張所 出張所長	
小野 彰	飯南町社会福祉協議会 事務局長	
片岡 穂士宏	飯南町 P T A 連合会 会長	
佐藤 孝志	飯南町学校校長会 会長	
山本 かおり	地域おこし協力隊	
有田 昭一郎	島根県中山間地域研究センター 主席研究員	